

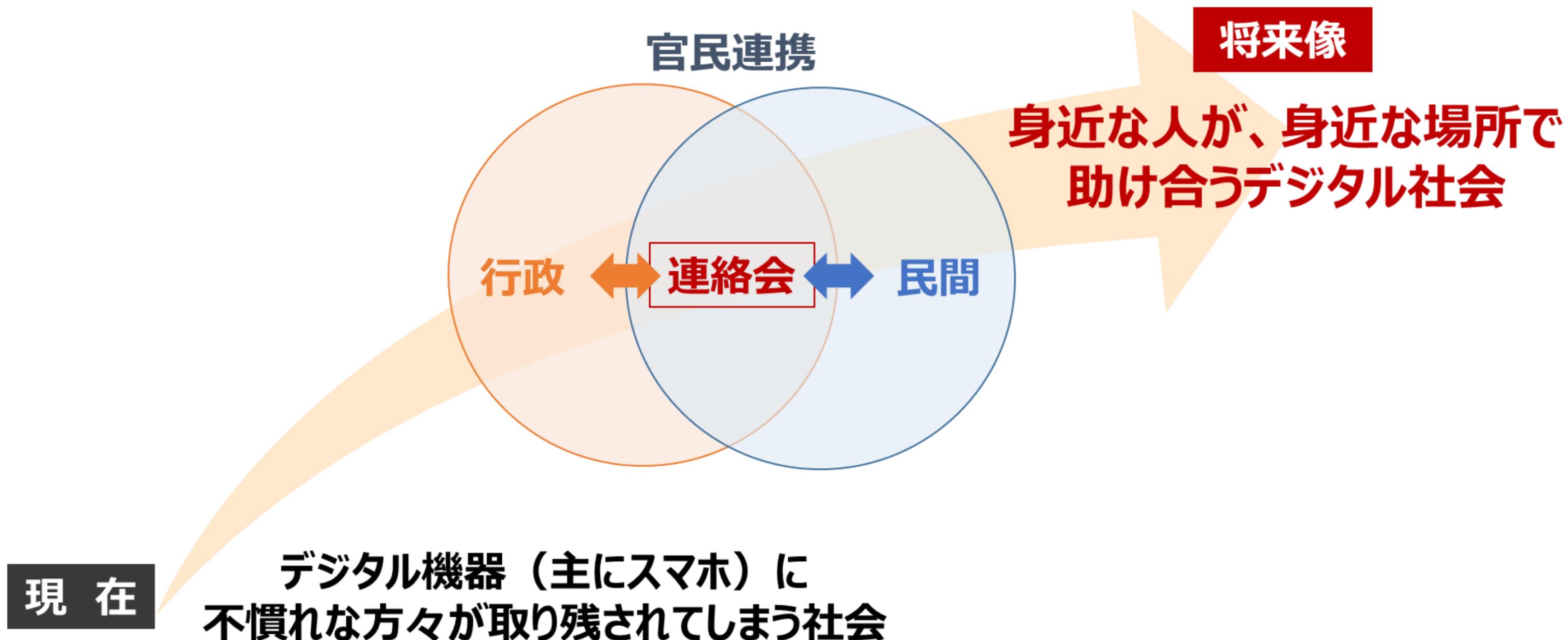
**令和5年度
第6回
東京デジタルフォローアップ官民連携連絡会**

令和6年3月27日 15:00~16:30

**東京都デジタルサービス局
デジタルサービス推進部 事業推進担当**

連絡会の趣旨（官民連携で目指すデジタル社会の姿）

身近な人が身近な場所で助け合うデジタル社会を目指し、デジタルデバイドの是正に向けた取組を官民が連携して実施していく



1. 開 会

2. 次 第

(1) 東京都事業説明

- ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況
- ②令和5年度デジタルデバイス事業取組実績と令和6年度実施予定について

(2) 連絡会会員活動紹介

- ①特定非営利活動法人ブロードバンドスクール協会
- ②NPO認知症予防サポートセンター

3. 閉 会

1. 開 会

2. 次 第

(1) 東京都事業説明

- ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況
- ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

(2) 連絡会会員活動紹介

- ①特定非営利活動法人ブロードバンドスクール協会
- ②NPO認知症予防サポートセンター

3. 閉 会

冒頭挨拶

東京都 デジタルサービス局 デジタルサービス推進部長 卷嶋 國雄

1. 開 会

2. 次 第

(1) 東京都事業説明

- ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況
- ②令和5年度デジタルデバイス事業取組実績と令和6年度実施予定について

(2) 連絡会会員活動紹介

- ①特定非営利活動法人ブロードバンドスクール協会
- ②NPO認知症予防サポートセンター

3. 閉 会

(1) ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況

✓ 都は、令和5年10月から11月までの間、都民のスマートフォンの利用状況を把握し、デジタルデバイド解消に関する施策展開の参考とするため、「スマートフォン利用状況調査」を実施

実施概要

- ✓ 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- ✓ 調査方法：郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用
- ✓ 調査期間：令和5年10月20日～11月19日
- ✓ 有効回収標本数：1,528標本

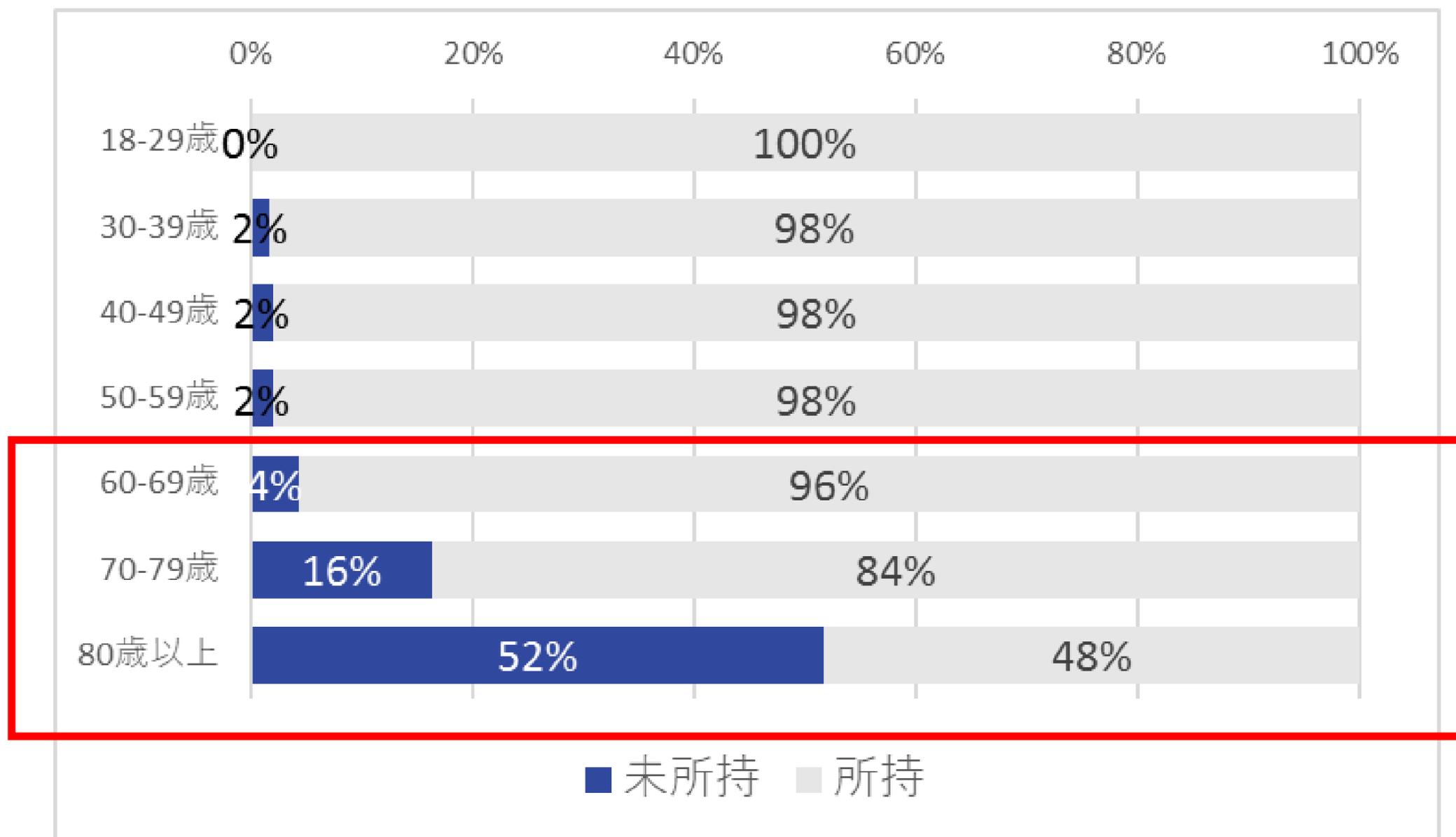
調査項目

- (1) スマートフォンの利用状況について
- (2) スマートフォン教室の利用状況
- (3) 東京都事業の認知度について
- (4) 日常生活におけるスマートフォンの利用スキル
- (5) 行政手続におけるスマートフォンの利用スキル

(1) ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況

調査結果 (概要)

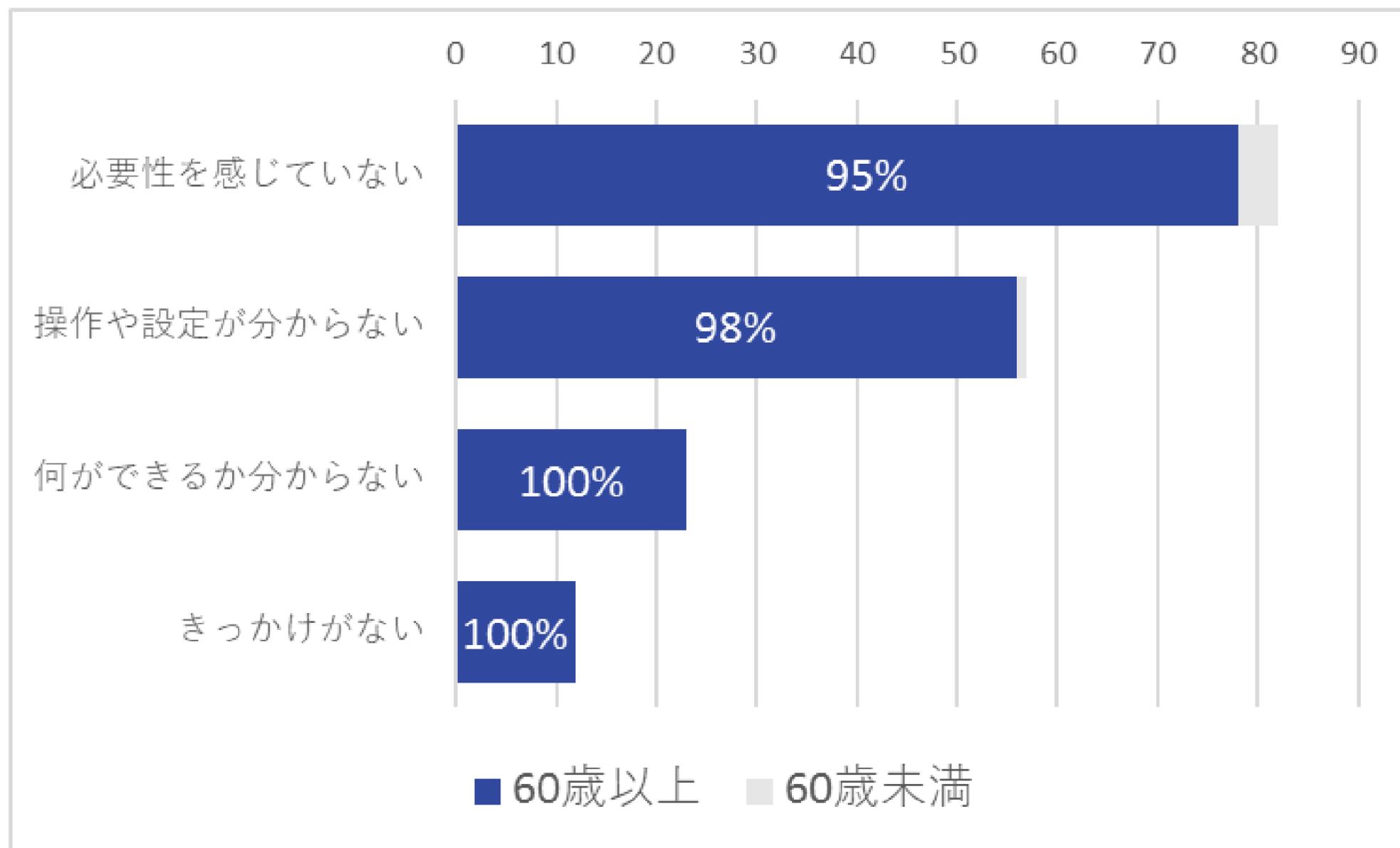
- 質問：あなたは、スマートフォンを所有していますか。



- ✓ 60代以上のスマホ所有率（赤枠部分）は約 8 割。
- ✓ 80代以上に限定するとスマホ所有者は半数に満たない

(1) ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況

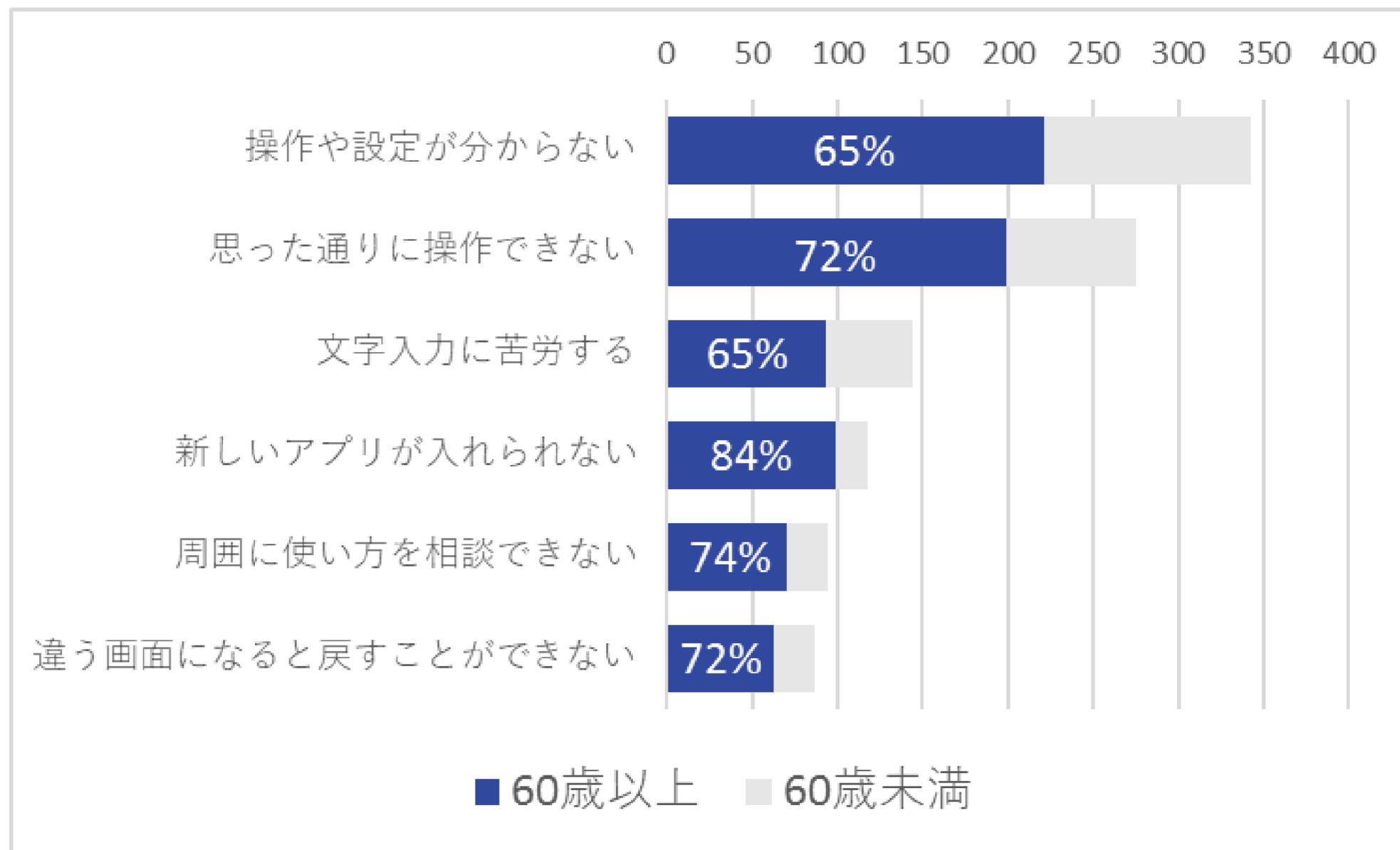
- 未所有者 (n=144) へ質問：
スマートフォンを所有していない理由を教えてください。(複数回答)



✓スマホ未所有者の高齢者に向けては、スマホを持つ必要性を感じてもらうきっかけづくりや、スマホの操作や設定方法を教えてもらえる環境をつくる必要がある

(1) ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況

- 所有者 (n=1,384) へ質問：
スマートフォンを利用して困ったこと、不安に思ったことはありますか。(複数回答)



✓スマホを所有されている高齢者の方に向けては、**アプリのインストールなど基本操作を教えてもらえる場をつくる**とともに、**身近な場所で使い方の相談ができる環境**が必要

1. 開 会

2. 次 第

(1) 東京都事業説明

- ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況
- ②令和5年度デジタルデバイス事業取組実績と令和6年度実施予定について

(2) 連絡会会員活動紹介

- ①特定非営利活動法人ブロードバンドスクール協会
- ②NPO認知症予防サポートセンター

3. 閉 会

(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

① 高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業

- 復習しながら基礎～応用が学べる4回コースの体験会を新設するとともに、体験会・相談会ともに規模を拡大
- 障害種別に応じて便利なアクセシビリティ機能やアプリの使い方などを紹介する障害者向けのスマホ体験会を新設

② 高齢者・障害者等情報格差是正モデル事業

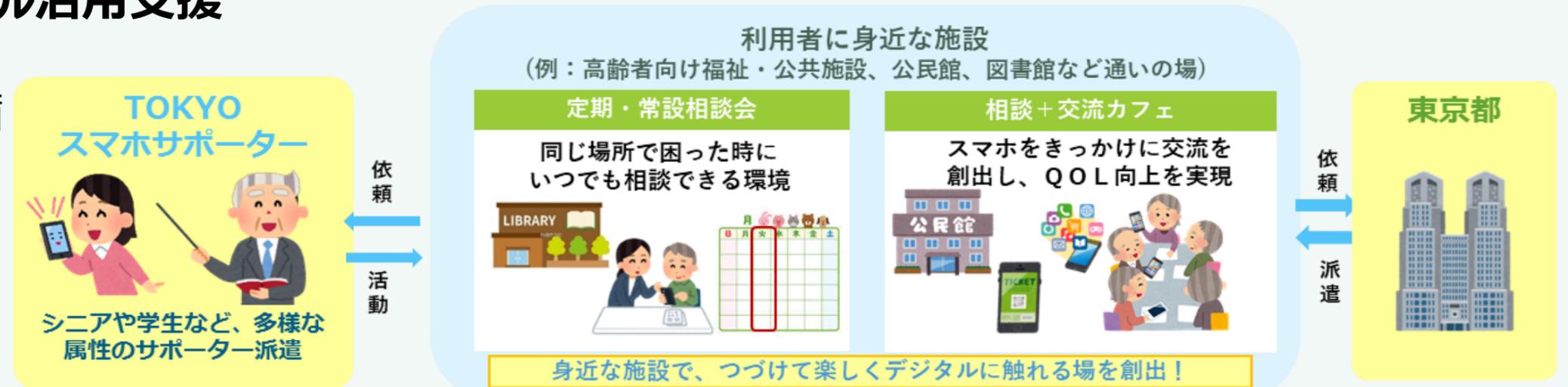
- R4年度までに作成したガイドラインの横展開にかかる課題抽出及びガイドラインに基づく区市町村事業実施時の支援

③ TOKYOスマホサポーター制度

- 区市町村事業での活用をはじめ、サポーター活動の裾野拡大にむけた取組を強化

④ 高齢者のQOL向上のためのデジタル活用支援

- 身近な施設で気軽にデジタルについて相談・交流できる環境整備
- 高齢者向け施設や公民館等での定期的な相談会の開催や参加者やサポーターとの交流を促進するプログラムなどの実施



(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業

スマートフォン体験会 (R5実績: 51自治体)

■概要

- ・教室形式 (定員: 会場により10~50名)
- ・主にスマートフォン未所有者が対象 (所有者も参加OK)
- ・未所有者には試用スマートフォンの貸出も実施
- ・会場例: 役所や高齢者向け施設の集会室や会議室など

■主な講義内容

- 1 基本操作
(タップ、スワイプ、ピンチなど)
- 2 コミュニケーション
(LINE等SNS、チャット、ビデオ通話等)
- 3 情報収集
(インターネット、ニュース、動画等)
- 4 申請・決済
(EC、キャッシュレス等)

■開催形式 (2種類)

- ・1回コース: 1回で基本操作を学習
内容は区市町村や会場が4パターンから選択
(パターン: ①のみ、①+②、①+③、①+④)

- ・4回コース: 4回に分けて①~④を全て実施
前回講義の復習を含め反復学習が可能

■実施イメージ

参加者はカリキュラムに沿って同一内容を受講いただきます。



スタッフによる操作サポートつき



スタッフの方が助けてくださるので、
引っかけたところも
すぐに解決できました!

中央区テレビ広報「こんにちは中央区です」
Vol.801 令和5年10月8~13日放映: [YouTubeはこちら](#)

★4回コースが大好評! ~参加者の声~

- ・基礎~応用までのトータルな内容でよかった!
- ・復習することで操作を再確認でき良かったです。

(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業

スマートフォン相談会（R5実績：31自治体）

■ 概要

- ・マンツーマン形式
- ・主にスマートフォン所有者が対象
（未所有者も参加OK）
- ・会場例：役所や高齢者向け施設の集会室や会議室など
屋外含むオープンスペースでも実施
（屋外イベントへの参加実績あり）

■ 主な相談例

- 参加者が日ごろスマホを使用する中での困りごとを解決
- ・カメラの使い方・QRコードの読込方法
 - ・Wi-Fiの接続方法・LINEの使い方 等



★個別相談が好評！～参加者の声～

- ・個別は大変有難いです
- ・普段使い方がわからなくて困っていましたが、今日こちらで質問できて少しわかりました。
- ・自分の知りたいことを知ることができた。

■ 実施イメージ

下記のような場所にて会場を設置し開催いたしました。

屋内会場（役所）



屋内会場（商業施設）



屋外会場（イベント）



熱中症対策に配慮の上、屋外でも実施

(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業

R5参加者の声

●相談会の参加者

- ✓ 個別に相談できるのは大変ありがたいです。
- ✓ 普段使い方が分からなくて困っていましたが、今日こちらで質問出来て少し分かりました。
- ✓ 自分の知りたいことを知ることができた。

スマホ所有者増に伴い
個別サポートを求める声が多数

●体験会の参加者

- ✓ スマホを持っていなくても参加できてよかった。
- ✓ スタッフの方が助けてくれるので分からないところもすぐに解決できました。

●体験会（4回コース）の参加者

- ✓ 基礎～応用までのトータルな内容でよかった。
- ✓ 復習することで操作を再確認できて良かったです。

繰り返し参加できる4回コースが大好評

R6 事業内容

- ✓ 予定事業期間：令和6年5月上旬から令和7年3月上旬ごろ
- ✓ 実施回数：3,100回実施予定（体験会＋相談会 総数）
- ✓ 内容・スマホ貸出は継続実施

改善のポイント

●相談会の実施規模拡大

- ✓ R5年度比：約1.5倍

●体験会の改善

- ✓ 募集の結果、参加者が0名だった場合、当日先着順に変更し、参加者のスマートフォンに関する困りごとの相談対応を実施

- ✓ 体験会（4回コース）の開催規模拡大

(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業

✓ R5年度より、視覚・聴覚障害者向けスマートフォン体験会を開始

視覚障害者向け体験会 R5実施概要

■概要

- ・視覚に障害のある方が対象（全盲・弱視）※障害者手帳の有無は問わない
- ・スマートフォン未所有者には**試用スマートフォンの貸出**も実施

■実施内容

- ・1コースあたりの定員・回数：4名・4回
- ・内容：基本操作（ボイスオーバー(※1)やSiri(※2)など**アクセシビリティ機能の紹介**を含む)

視覚障害者向け便利なアプリ（Seeing AI等）の紹介

- ・情報保障：教材（墨字印刷物・点字印刷物・音声データを**事前郵送**）
当日は講師のほか、アシスタントが**1対1**でサポート

※1：iPhoneに搭載された画面読み上げ機能

※2：iPhoneに搭載された音声認識機能

いずれも、画面を見ながらの操作が難しい視覚障害者がスマホを利用する際に広く使用されています。

教材イメージ

ボイスオーバーの基本操作

② ボイスオーバーの基本操作方法

東京都



- ◆基本的な指の動き
 - タッチまたはタップ：画面にポンと触れ、すぐに指を画面から離すこと。
 - スワイプ：画面の上で指を滑らせて指を離すこと。
- ◆操作方法
 - 項目をタップまたはタッチ：項目を選択して読み上げる。
 - 右にスワイプ：次の項目を選択する。
 - 左にスワイプ：前の項目を選択する。
 - ダブルタップ：選択した項目を有効にする。
 - 2本指で上にスワイプ：先頭から画面全体を読み上げる。
 - 2本指で下にスワイプ：選択した項目から画面全体を読み上げる。
 - 2本指でタップ：読み上げを一時停止する/続行する。
 - 3本指で下にスワイプ：1ページ分上にスクロールする。
 - 3本指で上にスワイプ：1ページ分下にスクロールする。
 - 3本指で右にスワイプ：1ページ分左にスクロールする。
 - 3本指で左にスワイプ：1ページ分右にスクロールする。

Seeing AI（文字等を読み上げるアプリ）

④ Seeing AI 機能を切り替えて使ってみよう

東京都



上下にスワイプして Seeing AIの機能を選択



ドキュメント機能

「ドキュメント」を選択
カメラが書類を捉えたら自動撮影、自動AI分析
分析結果を文字表示 ※ここまで操作不要



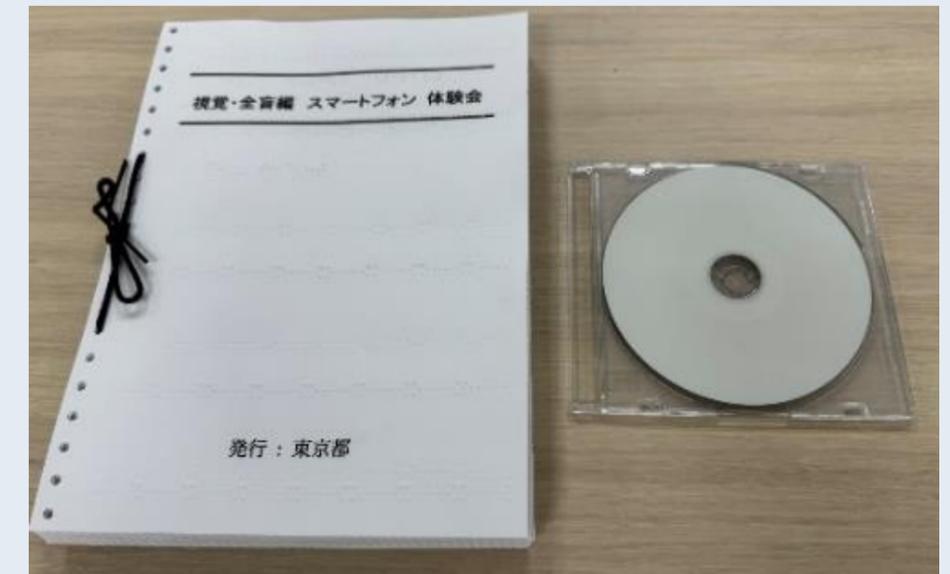
ライト機能

「ライト」を起動
ピー音が鳴ります。
明るいと高い音
暗いと低い音になります。

初めて機能を使う際に説明文が表示されます。「完了」をダブルタップすると機能が使えます。

再度説明を聞きたい場合は「クイックヘルプ」をダブルタップしてください。

左：点字教材 右：音声入りCD



(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

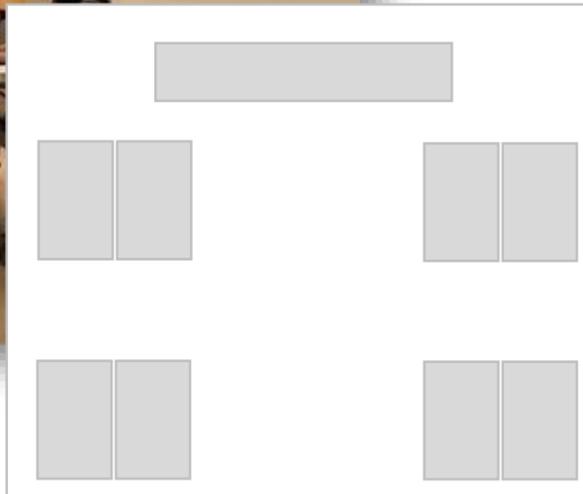
スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業

視覚障害者向け体験会の様子

■実施イメージ



音声読み上げ機能を使用するため、
音声聞き取りやすいよう部屋の四隅に席を設置



講師やアシスタントによる
サポートの様子



■参加者の声

- ・音声で操作できることがわかったからスマホを使ってみたい
- ・マンツーマンでやっていただけ良かったです
- ・楽しかったです。ボイスオーバーを使いこなしたい！

アンケートで10段階中8.8と高い満足度をいただきました！

(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業

聴覚障害者向け体験会 R5実施概要

■概要

- ・聴覚に障害のある方が対象 ※障害者手帳の有無は問わない
- ・スマートフォン未所有者には試用スマートフォンの貸出も実施

■実施内容

- ・1コースあたりの定員・回数：10名・2回
- ・内容：基本操作（アクセシビリティ機能や便利なサービス(※)の紹介を含む）
聴覚障害者向け便利なアプリ（こえとら等）の紹介
- ・情報保障：教材（墨字印刷物を事前郵送）

手話通訳または要約筆記(選択制)のほか、当日はアシスタントが1対1でサポート

※遠隔手話通訳や電話リレーサービスのこと。
特に、遠隔手話通訳は多くの役所窓口を導入されており、手話を使う聴覚障害者が行政手続を行うのに必要なサービスです。

教材イメージ

電話リレーサービス

10. 便利サービス紹介 東京都

電話リレーサービス

利用者（聴覚障害者・発話困難者など）
通訳オペレータ
お店・会社・ホテルなど

インターネット
手話
文字チャット
音声
電話回線

電話リレーサービスとは、聴覚や発話に困難のある人（以下、きこえない人）ときこえる人（聴覚障害者等以外の人）との会話を通訳オペレータが「手話」または「文字」と「音声」を通訳することにより、電話で即時双方向につながるができるサービスです。
24時間・365日、双方向での利用、緊急通報機関への連絡も可能となります。
(一般財団法人日本財団電話リレーサービス公式HPより)

実際の利用に際するサービス/利用料金については右記QRよりご確認をお願いいたします。

33

遠隔手話通訳

11. 便利サービス紹介 東京都

遠隔手話通訳 (QRコード利用)

サービス

都庁等に設置されたQRコードをお持ちのスマートフォンで読み込むだけで遠隔手話通訳を利用できます。

①都庁等において、遠隔手話通訳を利用できる専用のQRコードが設置されています。
②お持ちのスマートフォンのカメラ機能等で、QRコードを読み取ります。
③「手話」の表示をタップすると手話通訳者が画面に出て、通訳をします。
(東京都福祉保健局公式HPより)

実際の利用に際するサービスについては右記QRよりご確認をお願いいたします。

41

こえとら (筆談等でコミュニケーションできるアプリ)

2. 「こえとら」を使ってみよう 東京都

「こえとら」について(介助のお願い方法)

「こえとら」の機能の中に、例えば、公共の場等で介助が必要な際の依頼を補助する機能があります。

おねがい
私は音が聞こえません。少しお時間いただけますか？

会話アプリを使ってお話しさせてください。

それでは少々お待ちください。会話アプリ「こえとら」を開始します。

中略

アプリを起動し、「誰かと話すとき」という機能を使うことでスムーズに介助に関する依頼をすることができます。

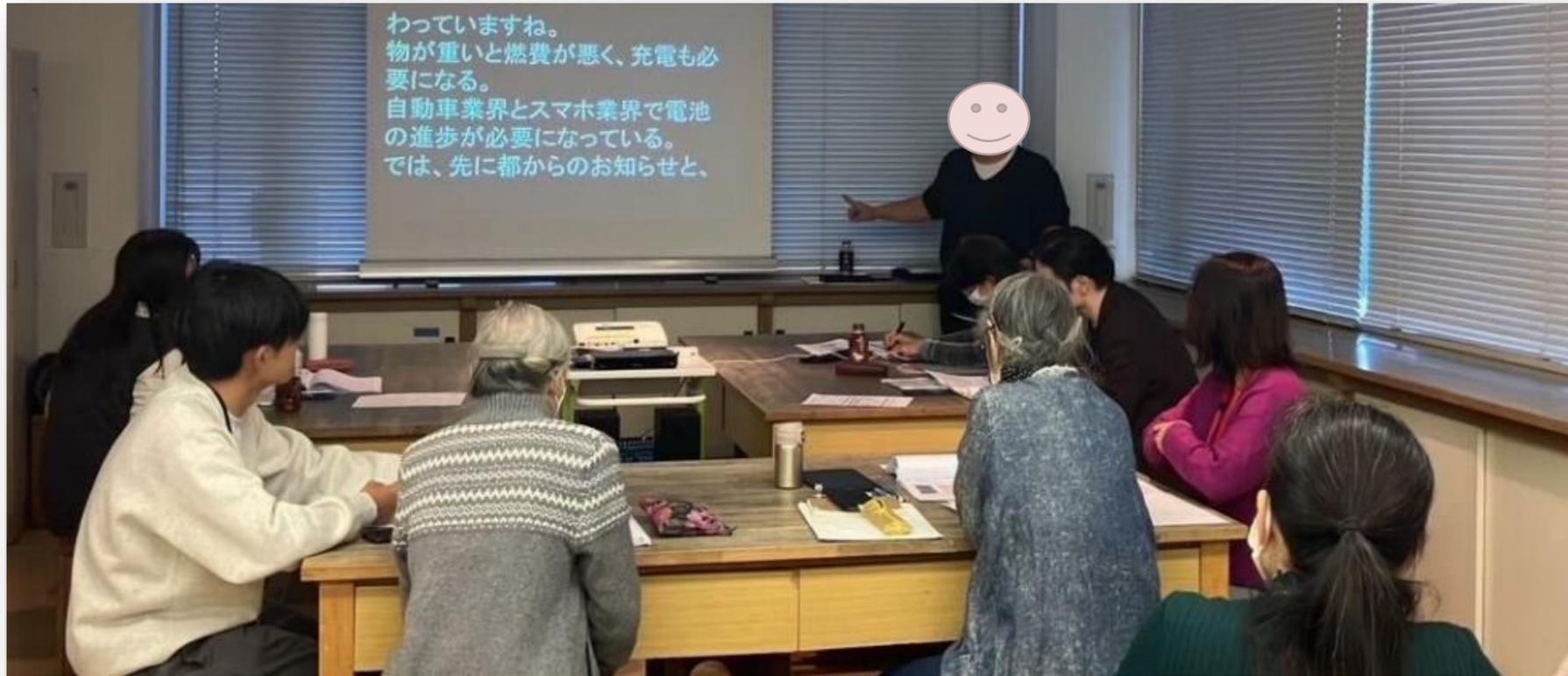
49

(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業

聴覚障害者向け体験会の様子

■実施イメージ



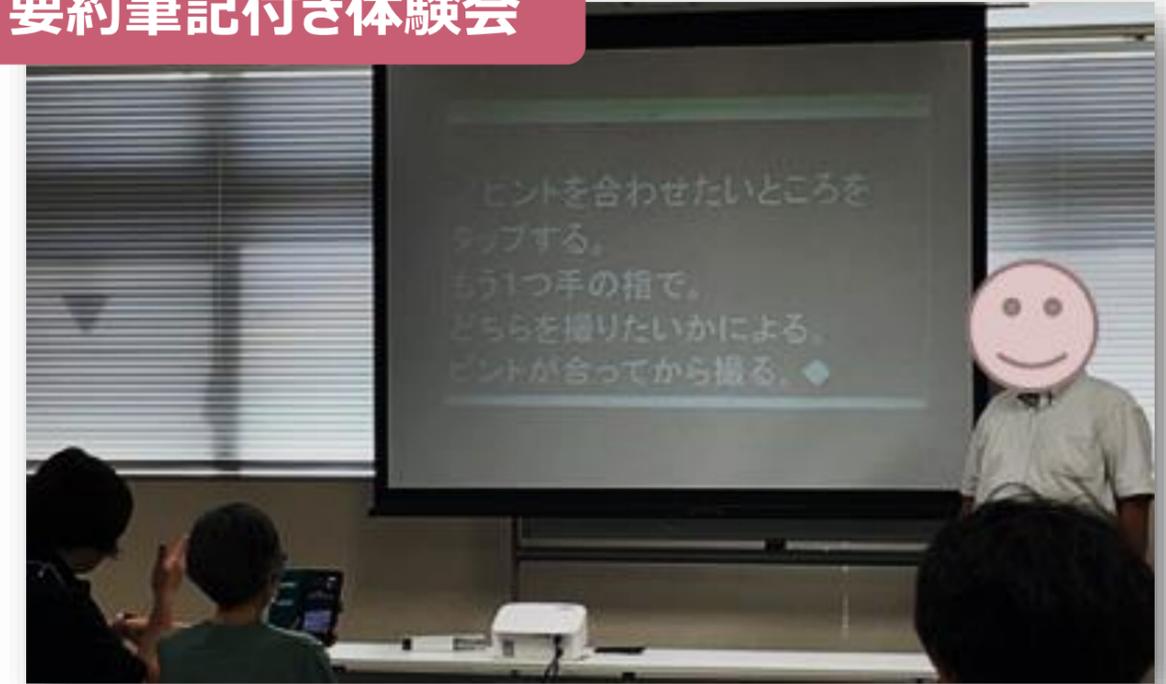
ご本人だけでなくご家族や介助者も一緒に参加される回もありました。

■参加者の声

- ・スマホを色々便利に利用出来そう。
- ・要約筆記が見やすくて良かった。
- ・文字サポート・手話サポートがあり、とても良かったです。

アンケートで10段階中8.6と高い満足度をいただきました！

要約筆記付き体験会



手話通訳付き体験会



(1) ②令和5年度デジタルデバイス事業取組実績と令和6年度実施予定について

スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業

- ✓ 参加者のニーズに応じて、R6は「スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業」としてリニューアルします！

R5参加者の声

- ✓ **体験会の終了後**、困りごとが出てきた際にどこに助けを求めているかわからないので不安・・・（80代/男性）
- ✓ **新しくスマートフォンを購入した時にサポート**してもらえたら助かる（70代/男性）
- ✓ この先スマホが無いと困るから**体験会後もスマホを使ってみたい**（60代/男性）
- ✓ facebook、LINEを使うため**体験会後もスマホを使ってみたい**（70代/女性）
- ✓ わからないことがたくさんあるので、**少しずつできるようにになりたい**（70代/女性）
- ✓ 視覚向け1コース4回では少ない。**他の参加者と話す機会が**

体験会（講義）終了後の**フォローアップ**や
個別サポートを求める声が多数

R6 事業内容

- ✓ 内容・情報保障・1：1でのサポート体制・スマホ貸出は継続実施

改善のポイント

- ✓ コース終了後に、他の参加者とともに便利なスマホの活用方法やスマホに関する困りごとを共有しあう2回の**フォローアップの場を設置**
⇒これにより、
視覚：計6回（体験会4回＋2回）
聴覚：計4回（体験会2回＋2回）に拡大
- ✓ フォローアップ中、障害者向けアプリを体験できる**屋内型イベント**を実施予定
- ✓ 参加者向けに**専用回線（電話・FAX）を設置し、相談受付**を実施
- ✓ 介助者がスマホの利用サポートを行えるよう、**介助者向けの教材**を作成・配布

(1) ②令和5年度デジタルデバイス事業取組実績と令和6年度実施予定について

TOKYOスマホサポーター制度

TOKYOスマホサポーター制度とは、日頃からスマホを使い、その便利さを知る方が、**デジタルに不慣れな方に寄り添い、困りごとの解決と一緒に取り組むことで、身近な地域での支え合いに繋げる**東京都の取組です

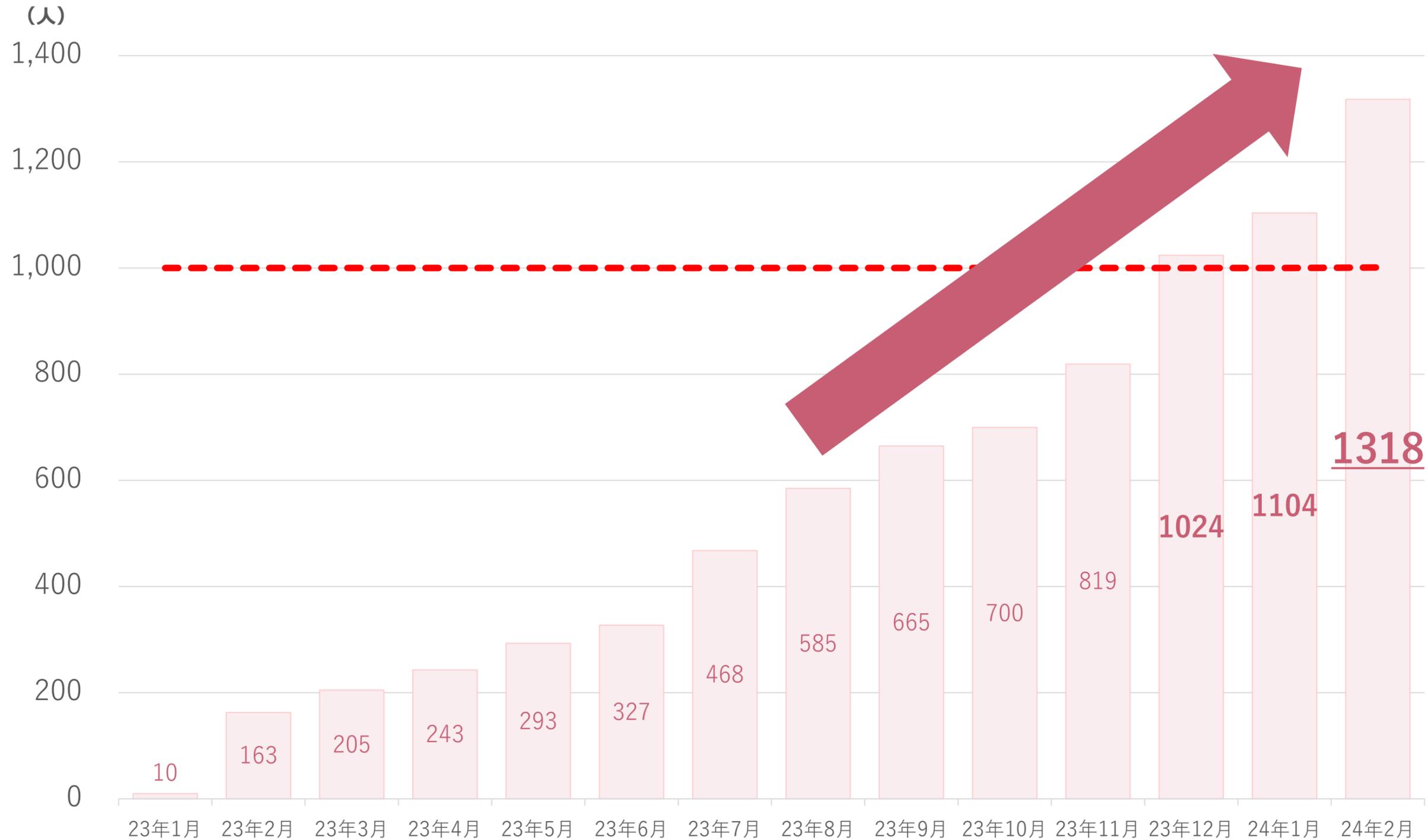


スマホ操作などにお困りの、より多くの高齢者等を身近な地域で支援するために、東京都では、**2023年12月までに約1,000人のサポーターを育成しました！**すでに多くのサポーターが、都主催のスマホ相談会・体験会で活躍しています。

(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

TOKYOスマホサポーター制度

サポーター人数（累計）



2024年2月以降も
サポーターを育成中です！



(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

TOKYOスマホサポーター制度

サポーター活動のイメージ



親身にコミュニケーションを取りながら、相談者と一緒になって、
問題をひとつずつ解決していく

- ・開催日時：
2023年3月15日 13～16時
- ・場所：西東京市役所田無庁舎ロビー

参加したサポーターのインタビューはこちら
https://sumasapo.metro.tokyo.lg.jp/about_20230315.html



この相談会はほんの一例。
これまで、都主催スマホ相談会のアドバイザーや体験会（教室）の
アシスタントとして延べ1,000人のサポーターが活動しています。

(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

TOKYOスマホサポーター制度

R5年度 制度実証

実証① ロールプレイング研修



サポート活動への
不安解消方法の模索



- ・開催日時：2023年10月14日・15日（2日間）
- ・場所：東京都新宿区（TKP新宿西口）

実証② オンラインサポート実証



島しょなど遠隔地へのサ
ポート方法の模索

- ・開催日時：2023年10月30日
- ・場所：東京都西多摩郡瑞穂町（瑞穂町役場ホール）



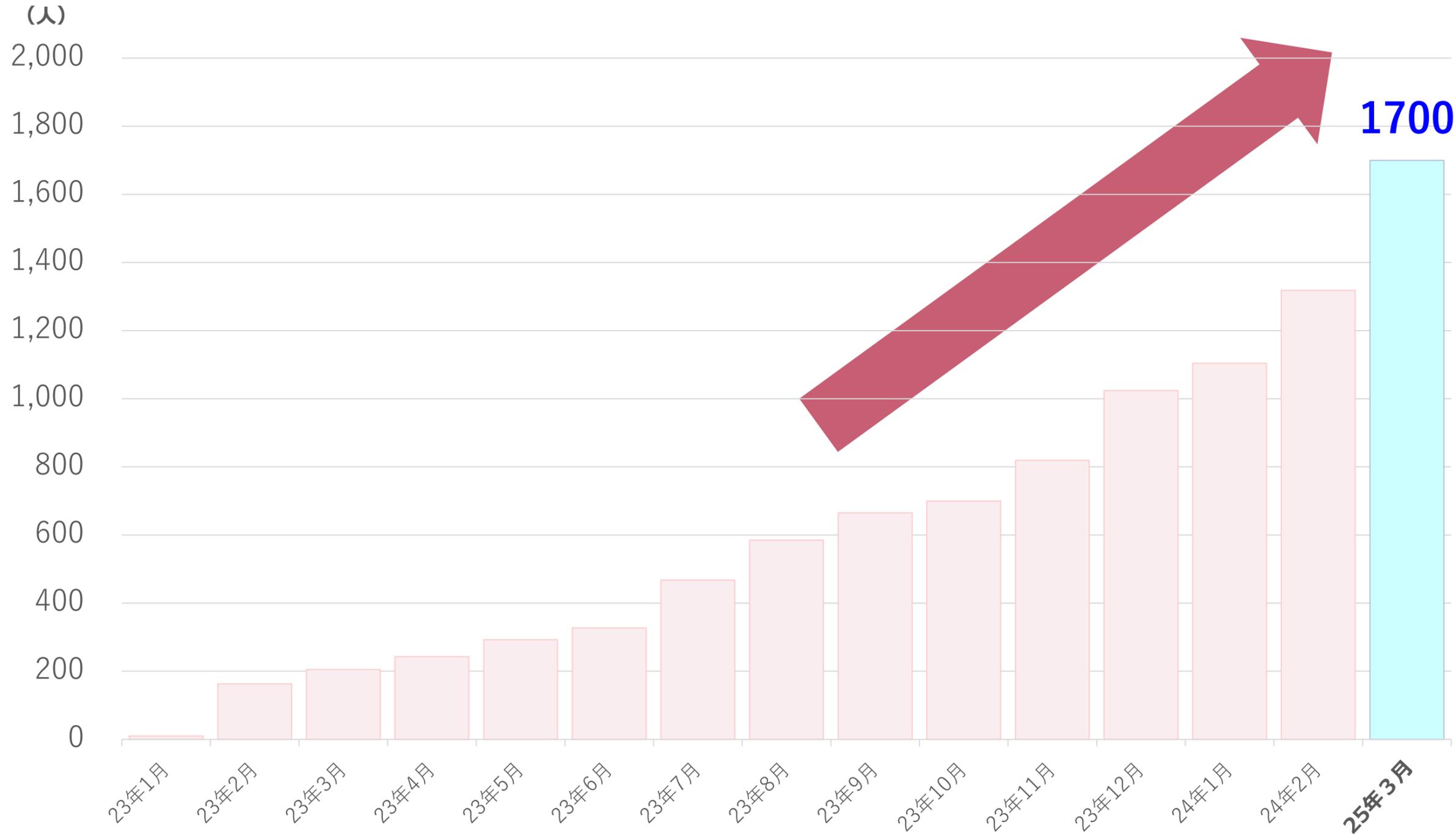
制度実証当日の様子を掲載した記事はこちら
<https://sumasapo.metro.tokyo.lg.jp/about.html>



(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

TOKYOスマホサポーター制度

R6年度 サポーター目標数 (累計)



R6年度は
サポーター目標
1,700名を目指します。



(1) ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

TOKYOスマホサポーター制度

R6年度 取組 サポーター／「活動の場」拡大

R6年度はサポーターの募集強化に加え、「活動の場」の取組開拓・拡大を目指します。

R5 活動の場

主な活動場所： ●東京都主催 スマホ相談会／スマホ体験会 が中心

R6 活動の場

主な活動場所： ●東京都主催 スマホ相談会／スマホ体験会 に加え

- ・各自治体で開催するスマホ相談会／体験会
 - ↳区市町村で独自に開催するイベントでの活用
- ・町会・自治会で開催するスマホ相談会／体験会
 - ↳地域コミュニティやマンション管理組合などで開催するイベントでの活用 など

⇒町会・自治会様でもスマホサポを活用できるよう、「活動の場」主催者の募集機能を実装しました

(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

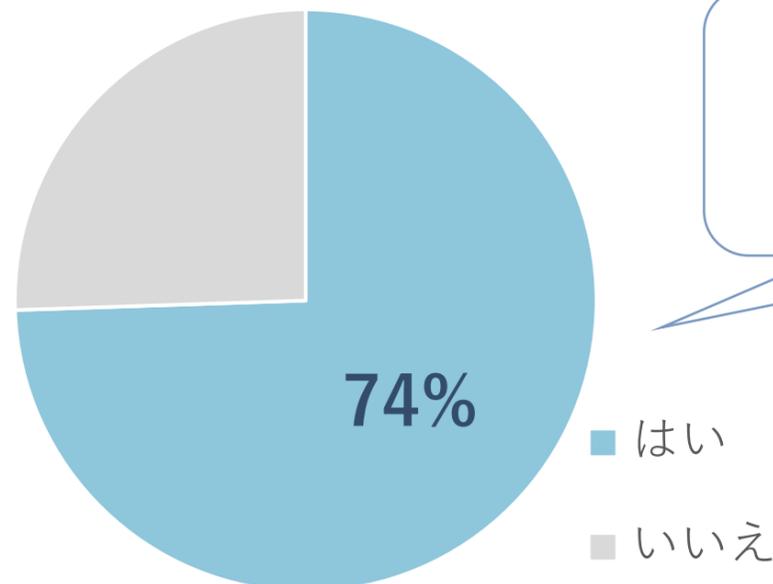
高齢者QOL向上のためのデジタル活用支援補助事業

✓ R5年度より、都内自治体と連携し、高齢者を対象にした定期相談会・スマホの相談を通じた交流の場を設置

R5事業の背景・目的

- ✓ **デジタルを活用したコミュニケーション**により、多くの高齢者は生きがいやつながりを実感（令和4年版高齢社会白書では約8割）
- ✓ 高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業の体験会・相談会に参加した高齢者より、高齢者のスマホ活用促進には**①定期相談会 ②反復学習ができる機会**が必要という声が多く寄せられていた
- ✓ デジタル活用支援だけでなく、**高齢者の社会参画やQOL向上にも寄与する、身近な施設等でいつでもデジタルについて相談し、交流できる環境整備**が必要

Q:困ったときにいつでも相談に行けるよう
同じ場所で定期相談会の開催があれば通いたいですか？



4人のうち3人が
定期相談会の開催を
希望

令和5年より新たに、都の委託において
以下の取組を開始。

- ①定期相談会（同一会場で月2回以上）
- ②スマホの相談を通じた交流の場
（同一会場で週1回）

(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

高齢者QOL向上のためのデジタル活用支援補助事業

定期相談会

■ 概要

- ・頻度 ⇒同一会場で**月2回以上**
- ・相談体制⇒相談者：被相談者が**1：1**
- ・内容例 ⇒相談者のスマホに関する困りごと解決
※スマホ相談会と同様

交流の場

■ 概要

- ・頻度 ⇒同一会場で**週1回**
- ・相談体制⇒相談者：被相談者が**複数：1**
- ・内容例 ⇒相談者のスマホに関する困りごと解決
+ 高齢者の交流促進につながる
プログラムの実施

R5参加者の声

- ✓ 他に生徒さんがいなくても構わないと思いました。また来週も来て習いたいです。
- ✓ 復習してきて、次につなげたい。
- ✓ この企画はありがたいので長くつづけて下さい。高齢者には助かります。
- ✓ 高齢者で相談相手のいない人は多数います。助かります。
- ✓ 他の参加者たちと交流できて楽しかったです。

■ 実施イメージ



健康アプリを活用したプログラム



ゲームアプリを活用したプログラム

(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

高齢者QOL向上のためのデジタル活用支援補助事業

目的

- ✓ 高齢者が身近な場所でスマホに関する定期相談会を通して交流を図り、スマホに触れるきっかけや動機づけにつなげることができるよう、区市町村による定期相談会やスマホの相談を通じた交流の場の設置を後押しすることでデジタルデバインドを解消。

対象事業（予定）

区市町村による定期相談会及び相談等を通じた交流の場の設置を契機とした、デジタル活用支援に資する以下の取組を対象とする。

(1) 定期相談会

高齢者を相談者とし、相談者1人につき被相談者が1人である取組のうち、同一会場で月2回以上開催する、スマホに関する定期相談会の創出に係る事業。



条件

- ✓ 頻度 ⇒同一会場で月2回以上
- ✓ 相談体制⇒相談者：被相談者が1：1
- ✓ 内容例 ⇒相談者のスマホに関する困りごと解決

(2) スマートフォンの相談を通じた交流の場

高齢者を相談者とし、相談者複数人につき被相談者が1人である取組のうち、同一会場で月2回以上開催する、スマホに関する困りごとの相談を通じた交流の場の創出に係る事業。



条件

- ✓ 頻度 ⇒同一会場で月2回以上
- ✓ 相談体制⇒相談者：被相談者が複数：1
- ✓ 内容例 ⇒相談者のスマホに関する困りごと解決
+交流プログラム

事業実施主体が都から区市町村に移ることにより、より多様な規模の事業者や団体による参加可能性につながる

(1) ②令和5年度デジタルデバインド事業取組実績と令和6年度実施予定について

① 高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業

- 相談会の実施規模拡大
- 体験会（4回コース）の開催規模拡大

② スマートフォンを活用した障害者向けアクセシビリティ向上支援事業

- 他の参加者とともに便利なスマホの活用方法やスマホに関する困りごとを共有しあうフォローアップの場を設置
- 参加者向けに専用回線（電話・FAX）を設置し、相談受付を実施

③ TOKYOスマホサポーター制度

- 区市町村事業など、サポーターが活動できる場の拡大をはじめ、サポーター活動の裾野拡大にむけた取組を強化

④ 高齢者のQOL向上のためのデジタル活用補助事業

- 区市町村による定期相談会及び相談等を通じた交流の場の設置を契機とした、デジタル活用支援に資する取組を対象に補助を実施
- 事業実施主体が都から区市町村に移ることにより、より多様な規模の事業者や団体による参加可能性につなげる

1. 開 会

2. 次 第

(1) 東京都事業説明

- ①はじめに 東京都内におけるデジタルデバイドの状況
- ②令和5年度デジタルデバイド事業取組実績と令和6年度実施予定について

(2) 連絡会会員活動紹介

- ①特定非営利活動法人ブロードバンドスクール協会
- ②NPO認知症予防サポートセンター

3. 閉 会